

日時：令和3年7月29日(木)午後6時30分～
場所：飯山市役所 全員協議会室

1 開 会

進行：浦野学校教育係長

2 あいさつ

(新家 委員長)

第2回目の委員会にお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。また本日は、現地視察ということで佐久の方までおいでいただきありがとうございます。

視察することによって地域の状況により学校施設についても多種多様な考え方があるなと感じました。今後とも皆様とともに知恵や工夫を出し合いながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

本日はまず皆様方から貴重なご意見をいただいておりますので、その確認と質問にお答えすること、その他盛りだくさんの議題がありますので、挨拶はこの程度にしたいと思っております。忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

3 会議事項

(1) 各委員からの意見要望について

(事務局より資料2を説明)

【質疑なし】

(2) 「城北中学校区新統合小学校建設基本計画」(イメージ素案)について

① 教育方針、教育内容について

② 整備方針について(コンセプト、想定施設、施設の特徴)

③ 通学路、通学方法について

④ 児童クラブについて

(事務局より①～④について資料2及び資料3を説明)

【質疑応答】

(新家 委員長)

大変長い説明となってしまいましたが、ご質問等あればお願いします。

(委員)

児童クラブについて、今後の方向は学校に併設するということだと思うが、今の説明を聞くと、併設するかどうかはこれから決めていくということになるか。

(事務局回答)

私どもとしましては、委員の皆さんの意見で併設というものが多いこと、また小学校からクラブへの移動等を考慮し学校に併設した児童クラブを整備したいと考えています。

(委員)

先ほど話があった通学の問題で、併設した場合には送迎バスをもう 1 回出さなければいけなくなると思うが、地域で放課後に子どもを預かるという児童クラブの目的からいえば、例えば現在の小学校区に 1 つずつ設置して、送迎バスでそれぞれの地域の児童クラブへ送って運営するという形も可能か。

(事務局回答)

そういうご意見も検討していくことになると思います。そのような場合に各クラブをどこに設置していくかなどの検討は必要になるかと思えます。学校は下校時間が決まっていますが児童クラブの迎えの時間は各家庭の都合になるため、現状は送迎バスを出すのは難しく保護者が迎えに行くことになっています。それでも迎えの時間が重なるコアタイムなどに送迎バスを出す必要があるのか、については今後別途設ける児童クラブ検討委員会で検討していくことになるかと思えます。

(委員)

確認となるが、児童クラブ併設かどうか今後の方向性はこれからの検討ということでよいか。

(事務局回答)

今後の検討ということになりますが、児童クラブを併設する場合にはこの委員会の中で決定していただかないと基本設計に反映できないため、併設であれば基本計画に盛り込んでしっかり配置をしていくよう考えております。

(委員)

本日視察に行った際に、佐久では現在建設中の統合小学校も、児童クラブは既存の学校ごとに設置したままバスで送迎するという話だったが、学校に併設した児童クラブはグラウンドや体育館で遊ぶことができるというメリットがあると思う。一方、地域ごとに児童クラブを設置するには空き学校がどうなるかということも考慮しないといけないと思うが、空き学校の後利用についてはこの委員会で議論することになるか。

(事務局回答)

いま委員からお話しあった通り、佐久市で建設中の統合小学校は、既存の学校の児童クラブを統合した後も利用するという話がありました。それは各施設がまだ新しいことも踏まえ検討した経過もあるとのことでした。もう一点、現在の小学校の後利用についてはこの委員会で検討することは考えておらず、今後、市の施設全体の中で検討していきたいと思えます。そのような計画から、例えば各小学校に併設されている児童クラブだけをそのまま利用することになると、施設の活用にも影響が出るかと思えますので、そういった点も踏まえて検討していきたいと思えます。

(3) 城北中学校区新統合小学校建設イメージについて

(事務局より資料 5 を説明)

【質疑応答】

(委員)

子どもたちが学校生活を送る中でどういう風な眺めになるのか。後ろは城北中、前は老人ホームで風景が見えないようにも感じるが。

(事務局回答)

今回は位置関係のみの配置案の提示で教室の位置や導線のみ記載で大変わかりにくい資料になってはいますが、設計者が出席しているのでここで説明をさせていただきます。

(設計者)

現地を見て私どもが最初に感じたのが、戸狩温泉スキー場方面の風景、また北竜湖方面の素晴らしい風景を望むことができるロケーションの素晴らしさでした。しかも一階部分であっても敷地が高いために2階建ての眺望があります。北側には中学校の存在を感じながら、周囲の風景も望むことができるよう、建物の中だけでなく、屋根付きのテラスを設置するなど風景に親しむことができる設計を皆様の意見をお聞きしながら考えていきたいと思っております。

(委員)

教室が16室必要だと思うが、管理棟も必要であることを考えると教室のエリアが狭すぎないか。

(設計者)

1階の職員室などの管理棟の上階がすべて教室エリアになります。また真ん中の共用エリアが廊下のように通路になったり、図書館にもなるような児童が多目的に利用できるエリアとなります。

(委員)

豪雪地帯であるので、冬期の避難経路を確保していただきたい。また教室の冷房について、エアコン利用はあると思うが自然の風も入るようにしてもらいたい。畑について陽当たりや水の環境も事前に確認してもらって計画してほしい。プールの位置ももう少し学校に近い方が良いと思う。堆雪スペースはどの雪を持ってくることを想定しているか。

(事務局回答)

堆雪スペースへは、駐車スペースの雪を堆雪する想定ですが、これは初期のイメージなのでこれから変わっていくこともあります。例えば隣接する「てるさと」の堆雪場との共用なども検討していきたいと考えています。

(委員)

児童クラブ位置については、南側の「附属施設等」の位置も考えているということになるか。

(事務局回答)

これはあくまで最初に提案された位置になるので、決定したものではありません。

(委員)

児童クラブは体育館も使えた方が良く思うのでこの位置ではない方が良く思う。

(事務局回答)

プロポーザルで提案いただいた内容になりますので、委員からの意見もお聞きしながらこれをたたき台にして設計業者と進めていき、改めて皆様にお見せしていきたいと思っております。

(委員)

資料5の「普通教室」「特別教室」「管理」の記載がある部分は、いわゆる「管理棟」のように棟として独立している構造になるか。

(設計者)

1つの建物の中に、それぞれの機能をエリアとして示しているとお考えください。

(委員)

「共用」エリアはどういう構造になるか。

(設計者)

提案しているのは壁に囲まれていないオープンなエリアの中に図書室などがあるもの。

(委員)

できれば図書室は教室を離れ静かな環境で自然の光の中で本を読むような環境になればいいと思うので検討いただきたい。

また保護者駐車場が城北中学校西側グラウンドに隣接する形で提案されているが、学校敷地と高低差がかなりあるかと思うが問題ないか。導線などはどうなるか。

(事務局回答)

今は城北中グラウンド一部を利用する提案されていますが、実際には城北中のグラウンドの使い方や、城北中でも現状不足していると言われている保護者駐車場スペースの小学校との共用なども含め検討していく予定です。

(4) 検討委員会及び基本設計の今後のスケジュールについて
事務局より資料4を説明。

【質疑応答】

(委員)

第3回が9月中～下旬、地域説明会が10月中旬頃とのことだが、順番を逆にして先に地域の声を聞いた方が良くはないか。委員会の進め方として、資料説明を聞く時間が長く委員意見を聞く時間が少ない。せっかく委員が集まっているが、何をすればよいかわからなかったり、委員がどこまで周囲の意見を聞けばよいかもわからなかったりするのではないか。先に地域の住民の意見を聞いてもらえば委員も進めやすいと思う。昨年開催された新たな学校づくり計画案の地域説明会の際も、保護者より地域の方々が多く参加していた。10月の地域説明会でほぼ決定した計画案を示す前に、地域の声を聞いてから委員で審議し計画案を作ることができないか。

(事務局回答)

本日、資料3で説明させていただいた建設基本計画のイメージ素案は、前回会議の後にいただいた意見を反映している点もありますが、反映できていない点あります。地域でご説明し住民の方々にご意見を伺うにはまだ内容が未完成であり、もう一度委員さんの意見をお聞きし完成に近いものを各地域の説明会で住民の皆さんに示して意見を伺いたいと考えています。

本日から次回委員会までに1か月半ほど期間がありますので、この期間に本日説明した内容について委員の皆さんにもう一度意見をいただくとともに、学校の先生にも意見を伺い、このイメージ素案についてより意見を反映したものを作り、第3回の委員会で示したうえで地域に出たいと考えております。地域から出た意見を踏まえて更に内容を修正したものを第4回委員会で委員の皆さんにお示ししたいと考えております。

(委員)

そうであれば、小学生・中学生といった子どもたちの意見を聞く場を設けてほしいと思う。膨大な人数ではないと思うので。

(事務局回答)

児童生徒たちの意見については、学校を通じて広く声を聞く機会を作っていきたいと思います。

(委員)

地域説明会に出る案は、ここで決定した案となるのか。

(委員)

この会議で決定し地域に出していく案を検討するというのも重要だが、保護者の委員さんからも全体の中では意見を言いにくいという声もあるので、会の持ち方として資料の説明する時間以外にも、意見を出したり聞いたりする時間をもう少し取ればよいのではないか。

今日視察に行くことができた委員はこの資料を見ても理解しやすいが、会議から参加した委員は文書の説明が長く理解しにくいというのはあると思う。

(委員)

私は小学校の運営協議会委員だが、小学校へ行ったときに先生や保護者の意見をできるだけ吸い上げて出席している。次回は資料説明は一切なく検討する機会としたらどうか。

(事務局)

今、委員会の進め方、またワーキンググループでの検討をしてはどうかという提案いただきましたので事務局で改めて検討したいと思います。

(委員)

お願いだが、次回の9月中～下旬の会議の資料は当日配布でなく、できれば9月の上旬には事前送付いただくようお願いしたい。そうすれば保護者なら他の保護者に意見を聞いて出席するなどできる。

(事務局回答)

委員さんがおっしゃる通りで、今回当日配布となったことは反省すべき点だと考えています。次回は事前にお送りできるよう準備したいと思います。

保護者の意見をいただくことについては、そのような意見交換の場を次回会議までに計画したいと考えています。また事務局から個別に連絡させていただく場合もあると思いますが、その際にご協力をお願いしたいと思います。

(委員)

今の話の通りでいいと思うが、先生の意見を聞く機会もあると思う。その際はもう少し詳しい配置がわかる図面を提示して意見を聞いていただくように準備していただきたい。

(委員)

同じく、今回の資料ではイメージしにくいので、立面図や投影図のようなものを用意いただきたい。

(事務局回答)

今日いただいた意見を踏まえて、準備していききたいと思います。

(委員)

細かい話になるが本日の視察で、案内してくれた先生が下駄箱のことを下足箱と言っていた。他にも「保護者駐車場」という名前にすると、我々のような保護者でも来賓でもない人は使いにくいので「来訪者駐車場」などの方が良いのかということになる。最初に決めた名前がずっと使

われることになるので、そのあたりも検討していく必要があると思う。

(事務局回答)

今後の検討の中で議論していきたいと思います。

(委員)

建設と関係ない個人的な要望になってしまうが、統合を見据えて今すぐにでも4小学校の交流を始めていただきたい。統合直前では意味がないと思うし、統合に関係ない高学年も中学校に向けて意味のある交流だと思う。

この話をするのは、自分の高校生になる子供がいるが、小学校の時に他の小学校と交流させてもらった。ただ大きい学校になると、こちらから要望してもなかなか応じてもらえない。市からも学校へ呼びかけてほしい。

(事務局回答)

該当の小学校に対応をお願いしていきたいと思います。

(5) その他

・次回委員会について

期 日：9月中～下旬を予定

事務局より次回委員会について、改めて通知により連絡する旨、説明し閉会した。

4 閉 会

別添資料	1	先進地視察資料
別添資料	2	各委員からの意見要望等
別添資料	3	城北中学校区新統合小学校建設基本計画（イメージ素案）
別添資料	4	検討委員会スケジュール（案）
別添資料	5	新統合小学校建設イメージ